



東北防衛局広報紙  
(東北6県の防衛に関する情報紙)

# 東北のかなめ

vol.28  
2014.9.29

## 特集 一緊急事態に備えよ一

東北防衛局の緊急事態対応

「日米ガイドライン」実動訓練

- ☑ 平成26年版防衛白書刊行
- ☑ 防衛セミナーのご案内
- ☑ 小野寺防衛大臣東北防衛局視察
- ☑ 施設整備工事に関する意見交換会
- ☑ 人事異動
- ☑ インフォメーション



防衛省・自衛隊  
MINISTRY OF DEFENSE

防衛省東北防衛局広報委員会編集発行

東北防衛局の緊急事態対応

東北防衛局緊急事態等対策本部  
(東北地方太平洋沖地震)

東北防衛局では、大規模自然災害や重大事故、重大事件などの緊急事態に的確かつ迅速に対応するため、これら災害時などの勤務態勢に関して必要な事項を定め、緊急事態に備えています。  
このうち大規模自然災害に関しては、例えば東北地方で大規模地震(震度6弱以上)が発生した場合には、ただちに対策本部を設置し、職員は勤務時間外であっても自主登庁し、対策本部の各班の事務(左図)に従事することとされています。一丸となって非常事態に対応します。

対策本部の各班の主な事務

【対策本部】	【企画・運用班】 対処方針の作成 など
	【情報班】 情報の収集 など
	【総務班】 対策本部の庶務 など
	【技術支援班】 自衛隊などに対する技術支援 など
	【自治体等支援班】 自治体等に対する支援 など

実際に、東日本大震災では、発災後ただちに対策本部を設置するとともに、宮城県庁などへのL0(連絡要員… Liaison Officer)派遣、建物の応急危険度判定など自衛隊への技術支援、通訳支援など米軍の活動支援や、防衛省所管行政財産(周辺財産)の使用許可、遺体安置所におけるご遺族への対応など自治体への支援を実施しました。  
これらの活動に対しては、宮城県知事、宮城県警察本部長、JR東日本仙台支店長、技術支援を受けた各部隊などから最大級の感謝の言葉をいただきました。  
また、機会を捉え、緊急事態への対応能力をさらに向上させるためのさまざまな訓練を実施しており、今年度は11月6日から9日まで実施される陸上自衛隊東北方面隊の震災対処訓練である「みちのくALERT(アラート)2014」に参加します。  
次号では、「みちのくALERT 2014」における訓練の様子を紹介する予定です。

特集  
緊急事態に備えよ

8月19日、むつ小川原港(青森県六ヶ所村)において、米軍航空機の墜落事故を想定した「日米ガイドライン」に基づく実動訓練が行われました。  
青森県における実動訓練は今回で3回目となり、六ヶ所村では初めての実施となります。

「日米ガイドライン」とは、日本国内で、米軍が使用する施設・区域の外において米軍の航空機が墜落又は着陸を余儀なくされた際に適用される方針及び手続きを定めたものです。

今回の訓練では、訓練中の米軍三沢基地所属のF-16戦闘機がパイロットからの異常の報告直後、むつ小川原港に墜落

し炎上したとの想定に基づき、110番通報などにより事故発生を認知した日米当局が、「日米ガイドライン」に基づいた初動活動を実施しました。  
現地では、警察・米軍憲兵隊による現場周辺への立ち入り規制、消火隊による消火活動、救急隊による負傷者への応急措置、海上保安庁による海上に転落した漂流者の救助活動などの訓練が行われました。

当局からは、三沢防衛事務所が参加し、米軍への事実確認及び情報収集、青森県、関係市町村などへの情報提供などの役割を行いました。



「日米ガイドライン」実動訓練



消火活動を行う日米の消防隊



負傷者への応急措置を行う日米医療従事者



進入路の路肩のひび割れを調査する職員

震災対処訓練(平成25年度実施)の対策本部

# 平成26年版防衛白書刊行

「平成26年版防衛白書」が8月5日、閣議で了承され、40回目の防衛白書が刊行されました。

防衛白書は、我が国の防衛政策への理解を深めていただくために毎年刊行しているものであり、平成25年版防衛白書の刊行から概ね1年間の主な対象として、その間に発生した事象や取りまとめられた政策事項などを中心に記述しています。

平成26年版防衛白書は、①いわゆるグレイゾーン事態の増加の傾向や北朝鮮によるミサイル発射、中国による我が国周辺海域での活動の急速な拡大・活発化など、一層厳しさを増す我が国を取り巻く安全保障環境、②安全保障法制に係る閣議決定、国家安全保障戦略や新防衛大綱といった、新たな安全主権保障・防衛政策、③国際協調主義に基づく積極的平和主義の観点から、我が国の安全及び地域・国際社会の平和と安定を維持するため、防



衛省・自衛隊が行っている様々な取り組みを中心に、より多くの方々に分かりやすくお伝えできるようにコラムや図表を充実させて作成しています。

また、今回、防衛白書が刊行40回目の節目を迎えることから、巻頭に、第1回防衛白書を刊行された中曽根元防衛庁長官によるご寄稿及びこれまでの防衛白書刊行の歴史に関する特集記事を掲載しています。

当局では、自衛隊の活動や防衛省の政策課題について、地方公共団体及び地域住民から幅広い理解と協力を得る地方協力確保事務の一環として、自衛隊地方協力本部と協力し、県知事や市町村長へ防衛白書の説明を行っています。

平成26年版防衛白書の説明は9月3日の八戸市から始まり、みなさまの自治体にもお伺いします。また、防衛省ホームページ（[http://www.mod.go.jp/j/publication/wp/wp2014/pc/2014/w2014\\_00.html](http://www.mod.go.jp/j/publication/wp/wp2014/pc/2014/w2014_00.html)）にも掲載しておりますので、是非ご覧ください。



達増岩手県知事（左端）に齋藤局長（右端）から防衛白書を説明（9月4日 岩手県庁）

平成26年版防衛白書に岩手県大船渡市立第一中学校のコラムがありましたので紹介します。

## 大船渡市立第一中学校 生徒会長 第3学年 吉野 圭（よしの けい）

私たちは、修学旅行のテーマを『震災復興支援への感謝と私たちの未来を伝えよう』と設定し、13（平成25）年9月5日に防衛省を訪問させていただきました。

震災後すぐに大船渡に来て下さった自衛隊の皆様を忘れません。救助に始まり瓦礫の片付けや炊き出しなどのご支援は、「安心感と安全と希望」を下さいました。

岩崎統合幕僚長をはじめとされる皆様の前で、大船渡の復興の現状の様子をお伝えできたことや願いをこめて製作した大漁旗をお渡しできたことに感謝申し上げます。

私たちは、知恵と力を出し合い1日も早い復興をしていこうと考えています。

【出展：防衛省ホームページ（<http://www.mod.go.jp/j/publication/wp/wp2014/pc/2014/html/nc050000.html>）】



願いが込められた大漁旗（大船渡第一中学校生徒と統合幕僚長（左端））

# 防衛セミナー

## 災害と自衛隊の関わり

講師：岩手大学地域防災研究センター 教授 越野 修三

陸上自衛隊 第9師団 第9特科連隊長兼岩手駐屯地司令 1陸佐 松本 英樹

開催日：平成26年10月9日（木） 17:45～19:45（開場17:15）

場所：滝沢ふるさと交流館 チャグチャグホール

入場無料

10月9日17時45分から滝沢ふるさと交流館チャグチャグホール（岩手県滝沢市）において、「災害と自衛隊の関わり」をテーマに防衛セミナーを開催します。（入場料無料）

防衛省・自衛隊は、自然災害をはじめとする災害の発生時には、地方公共団体等と連携・協力し、様々な救援活動を行っており、平成23年3月11日の東日本大震災を契機に災害派遣への関心が高まっています。

今回のセミナーには、東日本大震災の際に岩手県の防災危機管理監として中心的役割を果たされ、現在は、岩手大学地域防災研究センター専任教授として活躍されている越野修三氏を講師にお招きし、地方自治体の立場から見た東日本大震災の自衛隊の活動状況をご講演いただきます。また、陸上自衛隊からは、第9特科連隊長（岩手駐屯地司令）の松本英樹1等陸佐を迎え、災害に対する自衛隊の準備状況や実際の災害派遣での状況などについてご講演いただきます。

ぜひ、この機会に身近にある自衛隊の災害時の活動について更に理解を深めてみませんか。多くの方々のご来場をお待ちしております。

【お問い合わせ】

東北防衛局 企画部 地方調整課  
電話 022-2297-8212

# 防衛セミナーのご案内

小野寺防衛大臣東北防衛局視察

きめ細やかな対応が肝要

8月12日、東北防衛局に防衛大臣として初めてとなる小野寺五典防衛大臣による視察が行われ、齋藤雅一局長をはじめとする幹部職員との意見交換が行われました。

齋藤局長からは、平成23年3月に発生した東日本大震災時における東北防衛局の対応として、被災した防衛施設の復旧に向けた技術支援活動、自治体に対する支援活動及び米軍による瓦礫撤去作業（JR東日本仙石線でのソウル・トレイ



小野寺大臣（前列中央）と東北防衛局幹部職員



齋藤局長（右手前）からの説明を受ける小野寺大臣

ン作戦）における通訳などの支援活動について概況説明が行われました。また、航空自衛隊松島基地におけるブルーインパルス駐機場などの高台化工事の進捗状況や、各種防衛施策に係る関連市町村などとの調整状況について報告されました。

その後、意見交換が行われ、小野寺大臣から、「東北防衛局は、東北地方の防衛行政を進めるに当たり、国と地方公共団体との緊密な連携体制を強化する役割を担う組織として、これまで以上に、関係機関と調整を図りながら、きめ細やかな対応を行っていくことが肝要である。」との発言があるなど有意義なものとなりました。

防衛力の向上に向けて

8月29日、東北防衛局において、東北地方の陸海空自衛隊及び技術研究本部の施設担当者が一同に集い、平成26年度施設整備工事に関する意見交換会を開催しました。

意見交換会は、自衛隊などからは72名が、また、当局からは調達部長をはじめ24名が参加し、東日本大震災からの復興事業の加速と緊急経済対策による公共事業の増加に伴い、労働者不足や建設資材の高騰から工事などの入札不調や不成立が増加傾向にある現状に対する理解を深めるとともに、当局や自衛隊などが抱える課題や要望に関する意見交換を通じて相互理解の促進や連携の強化を目的として初めて開催しました。

自衛隊などの参加者は、当局からの説明を熱心に聴講するとともに、説明後に設けられた質疑応答では、エンドユーザーとしての意見や質問が多数飛び交い、相互理解の促進や連携の強化などの目的を達成し、初の意見交換会は無事に閉会しました。当局としては、今後も継続的に意見交換会を行い、自衛隊などとの緊密な信頼関係を築き、防衛施設整備工事を円滑に行い、防衛力の向上に努めます。



質問に回答する野中調達部長

人事異動

東北防衛局長 齋藤 雅一



主な略歴

- 昭和62年4月 防衛庁入庁
- 平成20年8月 経理装備局航空機課長
- 平成22年9月 運用企画局国際協力課長
- 平成24年9月 内閣官房内閣参事官
- 平成26年7月 現職

この度、東北防衛局長を拝命いたしました齋藤と申します。東北地方における防衛行政の拠点である東北防衛局の長を務めることは大変光栄であり、まさに身の引き締まる思いであります。

今回の配置は私にとり初の地方勤務となりますが、震災からまさに復興途上にある東北の地に於いて私どもの持てる力を振り絞って地域への貢献をして参りたいと考えております。

我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増すなか、我が国の領土・領海・領空、そして国民の皆様方の生命・財産を断固として守り抜くため、我が国の安全保障の中核を担う防衛省・自衛隊は、昨年策定された国家安全保障戦略や防衛計画の大綱などにに基づき、日々努力を重ねております。我が国の平和と安全を守るためには日米安全保障条約に基づいて我が国に駐留する米軍、そして我が国の自衛隊が何よりも精強でなければなりません。米軍や自衛隊が我が国の防衛や災害派遣などの任務を効果的に行うためには基地や演習場などの防衛施設の安定的な使用が不可欠であり、そのためには地元の皆様方のご理解とご支援が何よりも重要であります。東北地方の皆様には私どもの活動についてこれまでも深いご理解とご支援を頂いているところでありますが、東北防衛局といたしましても地元の皆様方に防衛省・自衛隊が行う各種の施策の意義や必要性を分かり易く真摯にご説明をし、ご理解を深めて頂くべく最善の努力をして参る所存です。

防衛省・自衛隊は1954年の創立から本年度で60年の節目を迎えました。ここまで発展を遂げることができたのも偏にこれまでの国民の皆様方の暖かいご支援があったればこそと感謝いたしております。今後とも変わらぬご支援のほど、そして東北防衛局をよろしく申し上げます。

防衛補佐官 石川 貴茂 1等陸佐



8月1日付けで防衛補佐官を拝命した石川です。防衛局及び東北での勤務は初めてですが、我が国周辺の安全保障環境が一層厳しさを増し、また、自然災害等が多発する状況において、あらゆる事態に的確に対応するためには、東北の皆様による平素からのご理解・ご協力が極めて重要であり、より強い信頼関係の構築に寄与できればと思っております。東北の皆様の安心・安全のため、強い意志と覚悟をもって任務に邁進したいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

郡山防衛事務所長 栗原 真喜子 1等陸佐



8月1日付けで郡山防衛事務所長を拝命しました栗原です。今回の業務は初めてであり、日々新たなことばかり、日々規則類の確認などに勤んでおります。適切な監督・検査等により、陸・海・空各自衛隊に少しでも寄与できればと考えております。また、出身である福島県での初めての勤務となります。震災後の復旧・復興の現状を目の当たりにし、なにか少しでもお役に立てればと考えております。よろしく申し上げます。

## 三沢基地航空祭2014

9月7日、三沢基地（青森県三沢市）で三沢基地航空祭が開催され、県内外から約14万人が訪れました。

今年は天気にも恵まれ、3年ぶりとなったブルーインパルスの展示飛行では、鮮やかなアクロバット飛行に来場者からは大きな歓声が上がりました。

また、5月から三沢基地に一時配備された米空軍グローバル・ホークが国内の航空祭では初公開され、写真撮影に熱中する航空機ファンで埋めつくされていました。



国内初展示となった米空軍グローバル・ホーク



ご来場ありがとうございました！

そのほか、F-15 戦闘機などの機動飛行や様々な装備品の展示、また、子供向けの企画としてF-2 戦闘機の翼の上を歩く「F-2 翼上ウォーク」など、年齢を問わないプログラムとなり、家族連れで大いに賑わいました。

当局では、会場内にブースを設け、防衛省の国際貢献パンフレットや、当局オリジナルのポストカードを来場者に配布するなど、政策広報活動を行いました。

【表紙の写真はブルーインパルスの展示飛行を見上げる来場者】

## 東北の主な自衛隊広報行事

自衛隊（東北管内）が今後予定している主な広報行事等は次のとおりです。是非、見に来てください。

	開催日	イベント名	開催場所	問い合わせ先
海	10月10日（金）	市民とのふれあいコンサート	下北文化会館 （青森県むつ市）	大湊地方総監部広報係 0175-24-1111（2304）
陸	10月11日（土）	福島駐屯地創立61周年記念式典	福島駐屯地 （福島県福島市）	福島駐屯地広報室 024-593-1212（204）
地本	10月11日（土）	第29回国民文化祭あきた2014 ゆりほんじょう人形劇フェスティバル	由利本荘市文化交流館「カダレ」 （秋田県由利本荘市）	秋田地方協力本部 018-823-5404
地本	10月11日（土） ～13日（月）	第29回国民文化祭あきた2014 第42回本場大館きりたんぼまつり	大館樹海ドーム （秋田県大館市）	秋田地方協力本部 018-823-5404
地本	10月18日（土）	陸上自衛隊第9音楽隊コンサート	仙北ふれあい文化センター （秋田県大仙市）	秋田地方協力本部 018-823-5404
地本	10月19日（日）	みやぎのまつり	榴岡公園 （宮城県仙台市宮城野区）	宮城地方協力本部 022-295-2612
地本	10月25日（土） ～26日（日）	大館圏域産業祭	大館樹海ドーム （秋田県大館市）	秋田地方協力本部 018-823-5404
地本	10月25日（土） ～26日（日）	北秋田市産業祭	北秋田市体育館 （秋田県北秋田市）	秋田地方協力本部 018-823-5404
地本	10月26日（日）	白神のふるさとまつり	藤里町町民体育館 （秋田県山本郡藤里町）	秋田地方協力本部 018-823-5404
陸	11月3日（月）	第39回陸上自衛隊第6音楽隊 定期演奏会	やまぎんホール （山形県山形市）	第6師団司令部広報室 0237-48-1151（5374）
地本	11月8日（土） ～9日（日）	さんフェア宮城2014	まなウェルみやぎ （宮城県名取市）	宮城地方協力本部 022-295-2612
地本	11月23日（日）	平川市演奏会（仮）	平川市文化センター （青森県平川市）	青森地方協力本部弘前地域事務所 0172-27-3871
地本	11月29日（土）	3自衛隊音楽隊合同演奏会	リンクステーション青森 （青森県青森市）	青森地方協力本部 017-776-1595
陸	12月11日（木）	第27回秋田自衛隊音楽祭	秋田市文化会館 （秋田県秋田市）	秋田駐屯地広報室 018-845-0125（361）
地本	12月13日（土）	大館市演奏会（仮）	大館市文化会館 （秋田県大館市）	秋田地方協力本部 018-823-5404

※事前の申し込み、入場整理券等が必要なイベントもありますので、お出かけの前に問い合わせ先にご確認ください。